

都市有害生物管理学会 第43回大会



- ・開会のご挨拶
- ・自己紹介
- ・追悼：名誉会員 安富先生の思い出

大会長 富岡康浩

ご挨拶

都市有害生物管理学会第43回大会にご参加下さいますて、ありがとうございます。

今大会では一般講演として11演題の研究発表、京都産業大学の前田秋彦教授による特別講演「ウイルスは世界を巡る」が予定されております。

今大会は、学会事務局の方々および学会長 菅野格郎先生のご尽力によって運営されました。そして会員の皆様の研究心と熱意によって開催の運びとなりました。

皆様に厚くお礼申し上げます。

自己紹介

前身の「家屋害虫学会」に、1990年に安富和男先生の勧めで入会。2005～2010年まで学会誌「家屋害虫」(最終号まで)の編集委員長の業務を担当。学会のロゴマークの作成。

2006.11. 学会ロゴマークが決定

2013.07.10: 学会名を変更



● C100 M
● Y100

ペストロジー学会の
マーク(2008年10月)



学会創設者でシロアリ研究者であった森八郎先生に因んでヤマトシロアリの羽蟻を用いてデザインした。安富先生に相談して作成。女性事務員がパソコンで仕上げて応募、決定。(日本ペストロジー学会ロゴマークも同様に採用された)

名誉会員 安富和男先生
2021年6月8日永眠(96歳)
(黙祷 30秒)



ルイヨウマダラテントウ
の原産地の青森県八
甲田山の蔦で撮影。
「害虫博物館」、
「詩の中の昆虫たち」、
「へんな虫はすごい虫」、
「すごい虫のゆかいな
戦略」の著書の裏表紙
に掲載。
生前に遺影にと希望。



安富先生の学会への貢献とご指導(1)

- ・安富和男先生は、森八郎先生からのご要望に応じて1979年に本学会の前身である家屋害虫研究会の最初の運営委員の一人となりました。
- ・名称が日本家屋害虫学会となつてからは理事および常任理事を2004年まで務めたほか、編集委員、企画委員、防除士認定委員長などを務めた。2007年に名誉会員となりました。
- ・学会の対象をシロアリに特化させず、幅広い昆虫群を対象とすることに貢献。
(私の本学会での最初の発表は1992年、安富先生の勧めで住宅近郊のカメムシ類の分布を発表)

安富先生の学会への貢献とご指導(2)

- ・殺虫剤および殺虫剤抵抗性に関する分野を本学会に構築し定着。

(先生にご指導頂き、イエバエ、ゴミムシダマシなどの薬剤抵抗性の論文を「家屋害虫」に共著で複数発表)

- ・若手会員の研究指導、学会発表の推進。

(イカリ消毒社員の学会発表の演題数が増加)

- ・「家屋害虫学会実験講座」を奥谷貞一、林長閑、田中和夫、田村正人の諸先生方と共に1991～2000年まで毎年開催し、殺虫試験、分類同定、生態の知識を広く普及。

(殺虫試験と分類同定の実地研修で、毎年助手を務めさせて頂いた)

1973年、高校生の時に読んだ「オオニジュウヤホシtentウ群をめぐる最近の諸問題」(安富, 1973: 昆虫と自然)がきっかけで、このtentウムシに興味を覚え、安富先生を知った。

大学、社会人になってもこのtentウムシの興味は尽きず、約45年間、安富先生にご指導頂いた。

このtentウムシはルイヨウマダラtentウ *Henosepilachna yasutomii* (Katakura, 1981)。青森県八甲田山の蔦が原産地。先生のtentウムシ、ハムシの論文は30編以上。食性と種分化の研究で、日本昆虫学会で活躍し若手研究者を育成(1983～86年 学会長を歴任、名誉会員)。



先生のもう一つの顔は、衛生害虫の殺虫剤抵抗性の研究者。
「コロモジラミ及びイエバエの殺虫剤抵抗性に関する研究」(安富,1961)
で日本衛生動物学会賞。九州大学農学部博士号。衛動学会名誉会員。
本学会の学会賞も受賞し、衛生昆虫学関係の論文は126編に及ぶ。
東京湾のゴミ処分場「第3夢の島」でイエバエ大量発生、殺虫剤抵抗性
が問題となったが、薬剤のローテーションの実践によって、抵抗性の発
達を抑えることに成功(安富・主藤、1983)。



1990年代は、イカリ消毒の技術顧問となり、一緒に全国各地の養鶏場のイエバエの抵抗性を調査し、効果的な薬剤と防除法を提案。

1990～2000年代に多くの書物の執筆活動



1983年初版



ブルーバックス・シリーズ



中公新書

先生から教えられた唄・俳句・諺

そらそら風！ どらどら風！ 見れど見れど風！ 風！

團伊玖磨・芥川也寸志 共作

追えばまた来る 未練な蠅を

そっと睨めば 拝む真似

金子浩三郎

ぼうふらや

蚊になるまでの浮き沈み

川 柳

「害虫博物館」、「詩の中の虫たち」
などにも多数の句や唄が掲載



博識でユーモアに富んだ先生

感謝。ご冥福を祈ります

